

# 国語科学習指導案

科目	授業学級	授業場所	使用教科書	授業者
現代文	2年5組（普通科）37名 （男子18名，女子19名）	2年5組	精選現代文B新訂版 （大修館書店）	伊地知樹理

## 1 単元名

評論文を読んで身近な具体例を出し合い，自分の意見をまとめよう

（西垣通著『生命情報・社会情報・機械情報』による）

## 2 生徒の実態と単元設定の理由

対象学級は2年理系クラスである。基本的な語彙力はある程度身につけている。積極的に発言し，他者との交流をはかることが得意である。一方で長い文章を読む力，筆者の考えをまとめて書く力，自分の意見をまとめて書く力には課題がある。

本学年が1年次から積み上げてきた，評論文の身近な具体例を自ら取り上げて考える言語活動を通し，読みを深め，さらに級友とその情報を共有することで自分の意見をまとめる契機になればと考える。

## 3 育成を目指す言語能力

- 文章を読んで批評することを通して，人間，社会，自然などについて自分の考えを深めたり発見させたりすること。（現代文B 指導事項ウ）
- 目的や課題に応じて，収集したさまざまな情報を分析，整理して資料を作成し，自分の考えを効果的に表現すること。（現代文B 指導事項エ）

## 4 単元の目標

- 進んで論理的な文章を読もうとする態度を養う。（関心・意欲・態度）
- 「情報」と人間・社会のかかわりについて考察を深め，ものの見方，感じ方，考え方を豊かにする。（読むこと）
- 時代を反映した評論を読み，文中で使われている語句の意味を理解する。（知識，理解）

## 5 単元の評価規準

関心・意欲・態度	読む能力	知識・理解
<ul style="list-style-type: none"><li>教材に興味をもって意欲的に学習に取り組んでいる。</li><li>「情報社会」に対し，自分なりの引きつけ方で考えている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>文章の構成を理解し，論理の展開を把握している。</li><li>現代の「情報社会」における個人のあり方について，本文に即して把握している。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>語句の意味を正しく理解している。</li><li>本文で言及される歴史的人物について，概略を理解している。</li></ul>

## 6 取り上げる言語活動

- 論理的な文章を読んで関心を持った事柄などについて課題を設定し，さまざまな資料を調べ，書き手の考えをふまえて意見を書き，発表する。

## 7 単元の指導計画（全8時間）

時	主な学習内容	評価基準	評価方法
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「情報」という言葉からイメージすることを発表する。</li> <li>・本文を通読する。</li> <li>・段落に分け、わからない語句に印をつける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・興味・関心・態度</li> <li>・知識理解</li> <li>・読む能力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動の観察</li> <li>・記述の点検</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1段落を読んで、現代の状況を読み取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識理解</li> <li>・読む能力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動の観察</li> <li>・記述の点検</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2段落を読んで、「情報」の定義をつかみ、人間の情報処理の仕方を読み取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識理解</li> <li>・読む能力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動の観察</li> <li>・記述の点検</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3段落を読んで、現代人の課題を読み取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識理解</li> <li>・読む能力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動の観察</li> <li>・記述の点検</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第4・5段落を読んで、ソクラテスの警告が、現代社会のどのような点にあてはまるか読み取る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識理解</li> <li>・読む能力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動の観察</li> <li>・記述の点検</li> </ul>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「情報社会」の問題点の具体例を図書館で探す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識理解</li> <li>・読む能力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動の観察</li> <li>・記述の点検</li> </ul>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「情報社会」の問題点の具体例を級友と交流して読み合い、さらに考えた意見をまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識理解</li> <li>・読む能力</li> <li>・書く能力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動の観察</li> <li>・記述の点検</li> </ul>
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の振り返りと単元の学習のまとめを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識理解</li> <li>・読む能力</li> <li>・書く能力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動の観察</li> <li>・記述の点検</li> </ul>

## 8 本時の実際

### (1) 目標

- ・ 「情報社会」の問題点について具体的な例を挙げて他者に説明できる。
- ・ その問題点を克服しどのような社会を作りたいか、他者と考えを共有し、自分の考えをまとめられる。

### (2) 本時の評価基準

関心・意欲・態度	読む能力	知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材に興味をもって意欲的に学習に取り組んでいる。</li> <li>・「情報社会」に対し、自分なりの引きつけ方で考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の構成を理解し、論理の展開を把握している。</li> <li>・現代の「情報社会」における個人のあり方について、本文中に即して把握している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本文の内容を叙述に即して的確に理解している。</li> </ul>

### (3) 本時の展開

過程	時間	主な学習活動	指導上の留意点	評価方法
導入	5 (分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時を振り返り、情報社会で失われた「身体的共感」について確認する。</li> <li>・技術の発達をもたらす影響と責任について確認する。</li> <li>・本時の流れを確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノートによる復習。</li> <li>・1学年2学期期末考査, 2学年1学期期末考査での設問について振り返る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動の観察 (前時までの授業の内容を理解し, 本時へ意欲的に取り組もうとしているか。)</li> </ul>
展開	40	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「情報社会」の問題点の具体例を掲示し読み合い, 級友と考えを共有する。[全体]</li> <li>・筆者が述べる「コミュニティ全体への身体性共感がこうして失せていく」につながる事例を選び, どのようにつながるのか考え, 書く。[個人]</li> <li>・情報技術の発達をもたらす問題点に対し, どのような社会を作りたいか, そのために何をするか考え, 書く。[個人]</li> <li>・意見を口頭で発表する。[全体]</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書いた意見を全員で読み合うことで, 個の活動から全体の活動に移行できるようにする。</li> <li>・筆者の述べていることと実際の具体例のつながりを考えることで, 「情報社会」の問題点を理解する。</li> <li>・科学や技術の発達の恩恵と問題点の両面を理解し, 自分はどのような社会を作りたいか言語化する。</li> <li>・数人を指名し, 発表させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動の観察</li> <li>・記述の点検 (適切な記事を選び, 筆者の考えをふまえたうえでの自分の意見が書けているか。)</li> <li>・行動の観察</li> <li>・記述の点検 (筆者の考えをふまえた例が選べているか。)</li> <li>・行動の観察</li> <li>・記述の点検 (学習課題について, 考察が深まっているか。またその変容が表現できているか。)</li> <li>・行動の観察</li> </ul>
終末	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の学習をふりかえる。[個人]</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲的に次時に向かえるような振り返りとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動の確認</li> </ul>